※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年前期
使用教科書	改訂版　ON！１（音楽之友社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を学習します。
・音楽がどのように形づくられ、それをどのように感じて表すのかについて、他者とともに音楽を分かち合いながら学習を進めていきます。
・歴史的、文化的背景などの広い視野で音楽を捉えることで、音楽文化の理解を一層深めていきます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他者の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていきましょう。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	歌詞の内容と音楽の関わり	【歌唱】 ・校歌 ・翼をください ・手紙～拝啓十五の君へ～	a:曲想や音楽の構造と歌詞との関わりについて理解している。（知識） a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:リズムや旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞との関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:音楽を形づくっている要素と歌詞との関わりを理解し、イメージをもって、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏発表	ワーク シート	観察 ワーク シート
	役割を意識してアンサンブルを楽しもう	【器楽】ギター ・聖者の行進	a： 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。（知識） a:ギターの奏法と、他のパートの音を聴きながら他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。（技能） b:音色や奏法、アンサンブルに関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、ギターの奏法、身体の使い方、他者との調和を意識して、創意工夫して主体的・協働的にアンサンブルで表現する学習に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏発表	ワーク シート	観察 ワーク シート
	総合芸術と音楽	【鑑賞】 オペラ、ミュージカル	a: 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。（知識） b:他芸術と音楽の表現効果の関わりについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他芸術との関わりや、総合芸術による表現に関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート	鑑賞の 記録	鑑賞の 記録

※令和４年度以降入学生用

前期期末	様々な国の歌に親しもう	【鑑賞】 ・O sole mio ・夏の思い出 ・おおシャンゼリゼ ・アリラン	a:音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。（知識） b: 発声や言葉の発音の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 発声や言葉の発音の違いによる音楽の特徴の関わりに関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	鑑賞の記録	鑑賞の記録
		【歌唱】 ・Heidenröslein	a:言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。（知識） a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:発声や発音、身体の使い方などについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 発声や言葉の発音による音楽の特徴に関心をもち、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	演奏発表	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		【器楽】ギター 【創作】強弱の工夫で曲の雰囲気を変化させよう ・ポルカ	a: 曲想と音楽の構造、アンサンブルによる表現の特徴を理解している。(知識) a:パートにふさわしい奏法や、音楽の構成、他のパートの音を聴きながら他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。(技能) a: 強弱の変化による響きの違いや効果について、表したいイメージと関わらせて理解している。(知識) a:創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、強弱の働きを変化させ、編曲する技能を身に付け、創作で表している。(技能) b:パートに応じた奏法、音楽の構成、アンサンブルに関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 b:パートに応じた奏法、音楽の構成、アンサンブルに関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、どのように強弱を変化させるかについて表現意図をもっている。 c:パートの役割や音楽の構成について理解したり、ふさわしい奏法、他者との調和を意識して、創意工夫して主体的・協働的にアンサンブルで表現する学習に取り組もうとしている。 c:強弱の働きを変化させ、編曲する活動に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏発表	ワーク シート	観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度